

B

L

YUKO
HISAMOTO

Beethoven Zyklus vol.2



© 学研

フォルテピアノ

モデル: アントン・ヴァルター 1795年製
ウルバーノ・ペトロゼリ製作

久元 祐子 ベートーヴェン

ピアノ・ソナタ全曲演奏会 Vol.2

2024. 9.7 (土) 15:00開演
[14:30開場]

サントリーホール ブルーローズ

全席自由 一般前売/4,000円 (当日4,500円) 学生/2,000円

チケット取り扱い ※発売日: 2024年4月1日(月)

サントリーホールチケットセンター / 0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日は休業)
<https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/purchase/>

チケットぴあ / t.pia.jp (Pコード: 265-726)

ローソンチケット / l-tike.com (Lコード: 32566)

宮地楽器 国立音楽大学店 / 042-537-8200

プロアルテムジケ / 03-3943-6677 www.proarte.jp (平日10:30~18:00)

【後援】オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京 オーストリア文化フォーラム
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

Program

L.v. ベートーヴェン *L.v. Beethoven*

◆ ピアノ・ソナタ 第10番 卜長調 Op.14-2
Sonate für Klavier Nr.10 G-Dur Op.14-2

◆ ピアノ・ソナタ 第3番 ハ長調 Op.2-3
Sonate für Klavier Nr.3 C-Dur Op.2-3

◆ ピアノ・ソナタ 第13番 変ホ長調 Op.27-1
Sonate für Klavier Nr.13 Es-Dur Op.27-1

◆ ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」
Sonate für Klavier Nr.14 cis-moll Op.27-2 "Mondscheinsonate"

【主催・お問合せ】プロアルテムジケ PRO ARTE MUSICA E
TEL.03-3943-6677

info@proarte.jp www.proarte.jp

※この演奏会は2024年度 国立音楽大学個人研究費(特別支給)の助成を受けています

YUKO HISAMOTO

Beethoven Zyklus vol.2

昨年、ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲シリーズをスタートし、第1回は現代の名器ベーゼンドルファー (model.280VCピラミッド・マホガニー) を用い、若き日のベートーヴェンの熱い想いと野心に満ちた作品群を弾かせていただきました。第2回は、ヴァルター・モデルのフォルテピアノを使用いたします。作曲当時ベートーヴェンが愛用していた鍵盤楽器の響きをお楽しみください。

ヴァルターなどこの時代のウィーンの鍵盤楽器には、弱音装置 (モデレーター) が装備されていました。ハンマーと弦の間に布がせり出してきて、その布の下からハンマーが弦を打つため、弱音になると同時に音色が柔らかく変化します。この神秘的な音色は、ベートーヴェンをはじめ、当時のウィーンの人々を魅了しました。

ベートーヴェン自身「幻想曲風ピアノ・ソナタ」と題したファンタジックな世界をヴァルター・ピアノで再現し、ブルーローズの空間の中で、みなさまとこの幻想的な世界を共有できましたら幸いです。

久元祐子

久元 祐子 / ピアノ Yuko Hisamoto, piano

ウィーン放送交響楽団、ハイドン・フィルハーモニー、ラトヴィア国立交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン・カルテット、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神戸市室内管弦楽団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受ける。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を授与される。2014年よりイタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。2018年オーストリア大使館に於いて日本オーストリア友好150周年記念演奏会に出演。2019年ファン・デア・ベレン オーストリア連邦大統領ご臨席のもとベーゼンドルファー・コンサートに出演。2016年~22年にかけてモーツァルト・ピアノソナタ全曲演奏会を開催。ベーゼンドルファー創設者イグナツ・ベーゼンドルファー制作 (1829年製) のピアノ、ブロードウッド (1810年頃製)、プレイエル (1843年製) など19世紀オリジナル楽器を愛用。それら歴史的ピアノの演奏会や録音にも数多く取り組む。また音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞CD特薦盤、レコード芸術特選盤) などCD17作をリリースし、「ベートーヴェン：テレゼ、ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など絶賛される。東京藝術大学卒業、同大学院修了。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「作曲家が愛したピアノからアプローチする演奏法 ベートーヴェン」(学研プラス) など著書多数。国立音楽大学及び大学院教授。

◆ 久元祐子 ウェブサイト <https://www.yuko-hisamoto.jp/>



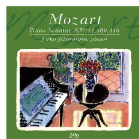
© 横田敦史

久元祐子 CD Information



栄光のモーツァルト

2024年 (コジマ録音 ALCD-9254)



青春のモーツァルト

2007年 (コジマ録音 ALCD-9075)



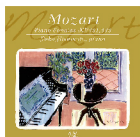
ベートーヴェン：ピアノソナタ第8番『悲愴』 & 第12番『ワルトシュタイン』

2021年 (マイスター・ミュージック MM-4092)



ピアノ名曲による花束

2005年 (プロアルテムジケ PAMP-1026)



優雅なるモーツァルト

2015年 (コジマ録音 ALCD-9155)



久元祐子 with 280VC ベーゼンドルファーで奏でるモーツァルト

2004年 (ビショップレコーズ EXAC0002)



学習するモーツァルト

2011年 (コジマ録音 ALCD-9109)



リスト：巡礼の年 第2年 ～イタリア～

2004年 (ビショップレコーズ EXAC0002)



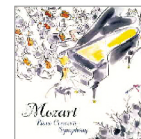
ハイドンとモーツァルト

2009年 (コジマ録音 ALCD-9089)



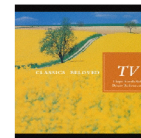
ノスタルジア

2003年 (ライヴノート WWCC7447)



Mozart piano concerto & symphony

2003年 (ラ・フォルテ La Forte)



とっておきのクラシック (2) TV

2003年 (ワーナーミュージック・ジャパン)



とっておきのクラシック (2) シネマ

2003年 (ワーナーミュージック・ジャパン)



久元祐子「テレゼ」 「ワルトシュタイン」

2000年 (コジマ録音 ALCD-9021)



久元祐子・ショパンリサイタル

1999年 (コジマ録音 ALCD-9016)